

令和４年度湘南大庭地区郷土づくり推進会議
＜全体会議（第８回定例会）議事録＞

日時：２０２２年（令和４年）８月１９日（金）１９：００～２１：００

場所：湘南大庭市民センター ２階 第２談話室

出席者：９名

欠席者：０名

傍聴者：なし

（市民自治推進課）赤坂補佐、谷村補佐

（事務局）湘南大庭市民センター 矢内センター長、齊藤主幹、菅谷

１ チームＦＵＪＩＳＡＷＡ２０２０（藤沢市ボランティアポータルサイト）について

（１）市民自治推進課より説明

約９００人登録があるがメンバーが固定化している。湘南大庭地区において活用の手立てはないか。スマホ教室ボランティアも募集している。

（２）委員からの意見

- ・オリパラのときのボランティアとは別物では？
→アンケートを行ったところ、多くの方々がオリパラ以外の事業にも関心があるとの回答であった。
- ・スマホ教室のボランティア、受講者のスマホに対する個人情報やセキュリティ等の問題は生じないか？
→今後検討。

２ 湘南大庭地区の課題について＜委員プレゼンテーション＞

（１）菅原委員

- ・生活困窮している子ども、家庭、高齢者がいることを知る機会をつくる。
（生活困窮者が見えてこない）
→湘南大庭地区の子ども（家庭）において、約３３％が生活支援必要、約２５％が十分な食事がとれていない。
→個人情報の問題はあるが、ＣＳＷの相談内容をある程度把握できないか。
→みんなで、地域で助け合う。

（２）菅野委員

- ・ゴルフコンペ
→芙蓉カントリー倶楽部（地区内：藤沢市大庭）、地元密着のイベントなので参加しやすい。（自治会対抗戦等も視野に）
→「ご近所さんと仲良くなること」共通の趣味を持つ者同士、距離は縮まりやすい。

→ゴルフ以外への派生も視野に（テニス、グランドゴルフ、マラソン大会、将棋、囲碁、麻雀 等）

(3) 前川委員

- ・自治会・町内会を変えていこう
→孤立感、自分たちだけが…という想いを払拭する必要があるため、話し合える機会（場）をつくる。
→負担増への対応力減少、自助・公助を整理し公助部分は移管を検討する。
- ・デジタル回覧板で地域活性化
→使いたいときに使えるツールになっているか、小糸自治会の取組事例、各地域団体の協力のもと情報の開示方法の制御と工夫。
- ・おおばはみんなともだち運動
→高齢者を中心に湘南大庭地区みんなが簡単に参加できるカジュアルな活動、みんなであいさつ運動、運動スローガン・ポスター掲示。

3 前回の確認事項

(1) 議事録

- ・第7回定例会議事録（案）→ 全体承認
（事前にメールにて確認済）

(2) スマホ教室

- ・ドコモスマホ教室について、「11月30日（水）9時～17時（午前・午後2部制）」開催することが決定した。

(3) 令和5年度予算要求

- ・波多野副議長を起点として意見があがった「距離表示等の屋外看板の設置」について、事務局で予算要求に向けた見積依頼などを進める。次回、当事業の実施の可否について意思決定を行う。
- ・期限にとらわれず、十分に議論したうえで予算要求することも必要。

4 市からの報告

(1) 湘南大庭地区シェアサイクル

- ・全庁的に推進（サイクルポート増設 等）に向けて要請あり、湘南大庭地区周辺（辻堂駅北口含む）のサイクルポートは9か所、今後の事業展開について提案。
→サイクルポート設置案：イオン、とうきゅう、二番構公園、舟地藏公園、ライフタウンのバスターミナル、けやき通りの一本奥側 等
→今後、郷土づくり推進会議において、事業推進に向けて検討を進める。

(2) スマホなんでも相談窓口（湘南大庭地区 期間限定）（市 デジタル推進室）

5 その他

- (1) 課題マップ（たよりの見開き2・3ページ）、木島委員が進めてくれている。今

後、全体的な文言の整理等が必要。

- (2) (中村委員) シニア層がつくった農作物について、湘南大庭地区では趣味で家庭菜園等を愉しまれているシニア層が多い。予想より多く採れてしまい困っているという声も聞く。地域内のマルシェとか地域に貢献活動をしている事業者、法人に活用してもらうことかできればいいと思う。
- (3) (時津議長) ポータルサイトの見直し((主) 荒井委員、時津議長)、今年度事業の「健康なんでも相談事業」も次回以降進めていく。

・次回 9月1日(木) 19時～ 第2談話室

以 上